

第1号様式（第8条関係）

令和6年2月20日

東員町議会

議長 山本陽一郎 様

東員町議会議員

川瀬孝代

令和5年度 政務活動費に係る収支報告について

東員町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項（第2項）の規定により、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和5年度 政務活動費収支報告書

議員名 川瀬孝代

1 収 入

政務活動費 110,000円

2 支 出

(単位：円)

科 目	支出額	備 考
調査研究費	38,400円	箱根町議会(議会改革について) 東京交通会館(ふるさと回帰支援センター)
研 修 費	90,020円	社会環境・経済の好循環を生み出す 総務省の 地域づくり、市長経験が明かす 質問の 趣意、 障害者福祉について、アキニターア-アハ27
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
広 報 費		
事 務 費		
合 計	128420円	

3 残 額

0

円

注) 備考欄には、主たる支出内訳を記載する。

参考様式 2

領 収 書 等 添 付 一 覧 (令和5年度)

使途項目	調査 研究費		
年 月 日	支 出 内 容	支 出 額	整理番号
令和5年 10月23・24日	箱根町役場(箱根町議会改革) 東京交通会館(ふるさと回帰支援センター)	38,400 円	2
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合 計		38,400 円	

※ 支出にかかる領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、「領収書等貼付用紙」の表紙として活用してください。

参考様式 4

使途項目	調査研究費	整理番号	2
------	-------	------	---

活動旅費明細書(令和5年度)

議員名 川瀬 孝代

研修事項: 箱根町議会改革について、ふるさと回帰支援センターの活用について

目的地: 箱根町議会・東京交通会館
役場

期 間: 令和5年10月23日から令和5年10月24日(2日間)

(1) 交通費 26,900 円

(交通費内訳)

日程	区 間	交通手段	交 通 費
2日間	新大仲新田 ~ 名鉄バスセンター(名古屋) 往・復	三重交通 高速バス	2,500 円
	名古屋 ~ 小田原 往・復	新幹線	} 19,870 円
	東京 ~ 名古屋 往・復	新幹線	
	小田原 ~ 箱根湯本 往・復	箱根登山鉄道	720 円
	小田原 ~ 東京 往・復	JR	3,810 円
合 計			26,900 円

(2) 宿泊費 11,500 円

(宿泊内訳) 実費 11,500 円 × 1 泊

(実費の上限は、14,800円)

合 計 38,400 円

注意

交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

参考様式 1 領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和5年度)

使 途 項 目	調 査 研 究 費
参考様式2の「整理番号」	2 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和 5 年 10 月 23 日

領収書-No 10
 窓口-No 10

領 収 書

川 瀬 孝 代 様

金額 ￥19,870円
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類代金として

上記金額確かに領収致しました

2023年10月23日
株式会社ジェイアール東海ツアーズ
登録番号: T6010001046449

ご利用いただきましてありがとうございます

印 紙 税 申 告 納
 付 に つ き 京 橋
 税 務 署 承 認 済

※ 領収書等は、重ね
また、本用紙1枚に ってください。

使 途	旅 費
按 分 率 等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	

参考様式 1 領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和5年度)

使 途 項 目	調査研究費
参考様式2の「整理番号」	2 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和 5 年 10 月 23 日	

株式会社京王プレッソイン
登録番号 T9011101031874

領 収 書
Receipt

No. 202310230254 C
2023.10.23

川瀬 孝代

様

¥11,500

上記金額は、ご宿泊料金として領収いたしました。(内消費税 Con.Tax ¥1,045)

但、(標準税率対象 ¥11,500) 標準税率消費税額 ¥1,045
(軽減税率対象 ¥0) 軽減税率消費税額 ¥0

京王プレッソイン神田
〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-8
TEL 03-3252-0202 FAX 03-3252-0203

※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。

また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。

使 途	宿泊費
按分率等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	

令和 6 年 2 月 20 日

東員町議会

議長 山本陽一郎 様

東員町議会 議員 川瀬孝代 ㊟

研修報告書〔政務活動費充当研修〕

研修期間	<u>令和 5 年 10 月 23 日 (月)</u> ～ <u>10 月 24 日 (火)</u> 【 2 日間】
研修 (視察) 先	・ 箱根町役場 (14:00～15:30) ・ 東京交通会館 (10:30～12:00)
目的 (テーマ等)	・ 箱根町議会改革について ・ ふるさと回帰支援センターの活用について
参加議員名 (複数の場合記入)	三宅耕三、三林浩、片松雅弘 川瀬孝代
資料添付の有無	(有) ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要、内容、所感

箱根町 視察・研修

現在、東員町議会では、議会改革以前の基本的なことが欠けている議会運営を行っています。

やりたいだけの職をとり、この現状をきちんと運営していく議会をとりもどしたい。今後一層、様々な手法で議会改革に取り組む必要があります。

箱根町議会での議会改革における先進的な取り組み、一定の成果をあげていることに研修することとしました。

事前質問

1. 夜間議会、休日議会の開催検討は、

お店や観光があるために、難しく、なじまなかった。

2. 議会モニター設置検討は、

進んでいない

3. 議会カレンダー作成は、

ホームページに掲載している。ホームページの充実。

傍聴者向けの定例会案等は事務局が作成している。

審決の場合、事前にわかるようにしている。

※フェイスブックの開設、議会開催など、お知らせや議会活動報告もしている。

4. 議長の所信表明、目的成果は、

選挙することの透明化、開かれた議会の実現をめざしている。

本会議の休憩中に、議場で選挙を行う。

所信表明 1人5分以内、議事録作成して公開。

5. 市民の意見を集め反映するための仕組みづくりは、

実施要項にそって、市民と議会との意見交換会を行っている。
報告会もしている。

6. 傍聴規則の見直しは、

乳幼児や児童同伴の議会傍聴ができる。

議会でキッズコーナーや授乳室を設置している。

スマートフォン・タブレット端末の持ち込みや写真撮影、録音は自由としている。

小学生の議会傍聴（社会授業として）

資料の出し出し。

所感

基本条例に基づいて議会改革のテーマとして、議論する議会、開かれた議会と
していました。

議会がこれまで行ってきたことを白書にまとめるなど、いかに取り組んでいる
議員間で自由な討議が活発に行われている。運営も明文化されている

多様な情報発信を行い開かれた議会として、掲載内容が充実している
議員から改革に対する課題を見つけて、改革へのとりくみをしている。

議会内での申し合わせ事項は、その時の議会内において常に見直しを行っている。
東員町議会としてすでに実施している内容もありましたが、熱心に細かく
取り組んでいることに感銘しました。

東員町議会としても前に進んでいくことができるよう職責に全力で取り組んで
住民福祉の向上に努めていきたいと思っております。

ようこそ箱根町へ
三重県員弁郡東員町議会の皆様

視察次第

日時：令和5年10月23日(月)

午後14時～

場所：本庁舎4階第2委員会室

- 1 開 会
- 2 箱根町議会歓迎挨拶
- 3 東員町議会代表挨拶
- 4 出席者紹介
- 5 視察事項説明及び質疑応答
- 6 閉 会

〔議員氏名： 川瀬孝代

〕

研修概要、内容、所感

ふるさと回帰支援センター視察

移住交流拠点として活動している。概要(資料添付)
NHKで取りあげる。地域おこし協力隊などで現在移住する人が増えている。
毎年5万人の来場があり、女性が多く、特に土・日が多く訪れている。
自治体の視察も増加している。

研修会の実施を行い、企画内会議を実施し、社会貢献の観点から取り
組んでいる。

活力のあるまちづくり、地域づくりをするのが大事であり、思いをもった人をどうやって
入れていくこと、地域にわかりたい人を集めて、どう入れていくのか。
この点で、まちづくりができていくといわれていた。

回帰支援センターとして、ここからの発信、アドバイスができるよう取り組んでいる。

国の地方創生を掲げたことによって進んでいった。

栗原町が自治体委員の部分が見えなかったことが残念でし。

私たちと一緒に、 移住施策に取り組みませんか？

ご入会いただくと、センター内のセミナールームを利用した共催セミナーの開催の他、オフィシャルサイト及びWebマガジン「FURUSATO」への地域情報やイベント情報などの掲載、国内最大級の移住イベント「ふるさと回帰フェア」への優先出展も可能です。

特典 資料展示・ご案内

- ① 貴自治体の地域情報を常設し、来訪者に配布・ご案内します。
- 資料ボックス（引き出し2段分・無料）



特典 共催セミナーの開催

- ② セミナールームを利用した共催セミナーを年1回、無料で開催できます。セミナーの告知は以下Webサイトの他、『田舎暮らしの本』（宝島社）にも掲載できます。
- 年1回開催無料（セミナールームA～D）
 - 『田舎暮らしの本』（宝島社）への掲載（無料）



特典 Webサイトへの情報掲載

- ③ オフィシャルサイトまたはWebマガジン「FURUSATO」へ、貴自治体の情報を掲載できます。
- お役立ちリンク集：2サイト
 - イベント情報（共催セミナー、出張相談会）：無制限
 - イベント情報（共催セミナー以外）：月1件無料
 - 「地域トピックス」への掲載：月1件無料
 - 「移住ストーリー」（体験談）の掲載：年2件



特典 「ふるさと回帰フェア」への優先出展

- ④ 国内最大級の移住フェア「ふるさと回帰フェア」への優先出展が可能です。
- ふるさと回帰フェアへの優先出展（出展料有料）

特典 その他 ※年会費には含まれない有料特典です

- ⑤
- センター登録者へのDM【1通：209円（税込）】
 - オフィシャルサイト・バナー広告の掲載【1年間：220,000円（税込）】
 - Webマガジン「FURUSATO」イベントバナー広告の掲載【有料】
 - 「都市と農山漁村の交流・移住実務者セミナー」参加費割引

年会費

50,000円（非課税）

※年会費以外は、一般管理費10%が別途かかります。

お申し込みは
センターHP
またはこちら>>





年間約5万人が利用する移住交流拠点 「ふるさと回帰支援センター」をご活用ください！

認定NPO法人ふるさと回帰支援センターは、全国500以上の自治体から賛同いただき、移住・定住・関係人口の推進に取り組んでいます。移住相談をはじめ、資料見学やセミナー参加など、年間約5万人の方にご活用いただいています。

センター活用メリット

移住に関心のある層に、情報を届けることが可能です。

Point

①

移住情報
の
発信拠点

- 国内唯一！全国44都道府県1政令市の相談ブース
- 全国の移住関連資料を集めた資料コーナー
- センターのWebサイト等を使った情報発信
- 年間600件以上のセミナー開催（2022年実績・647件）
- マスコミからも注目！自治体をご紹介するケースも

Point

②

移住者
対応力
No.1

- 相談件数、月間最大6,000件超
- 地域未定の相談者の対応（好適地へマッチング）
- 移住までの継続的なフォロー
- 相談データやノウハウの蓄積
- 移住者の本気度や地域との相性を見極める判断力

移住施策の充実、担当者のスキルアップにつながります。

Point

①

全国の
担当者
との交流

- 他地域の取り組み、優良事例を知ることができる（セミナー、チラシ、パンフレットなど）
- コラボセミナーなど他地域と連携した取り組みが可能
- 実務者向け研修会（年2回）で、スキルアップ&情報交換
- センター主催「ふるさと回帰フェア」には、全国から300を超える自治体に参加（2022年実績・350自治体）

Point

②

移住施策
の
サポート

- 移住相談の傾向や、相談者のニーズなどの情報提供
- 共催セミナーの開催支援
- 中・大型イベントの企画・運営サポート
- 施策立案時の助言（他県動向や移住・定住の成功事例、20年間の活動を通じて得たノウハウの提供など）

参考様式 2

領 収 書 等 添 付 一 覧 (令和5年度)

使途項目	石井 11 分 費		
年 月 日	支 出 内 容	支 出 額	整理番号
令和5年 8月8、9日	社会環境経済の好循環を生み出す統合思考 の広がり。市長経験が明かす、真実の極意	50,860 円	1
令和6年 2月9、10、11日	障害者福祉について フォーラム27	39,160 円	3
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合 計		90,020 円	

※ 支出にかかる領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、「領収書等貼付用紙」の表紙として活用してください。

使 途 項 目	研究費		
参考様式2の「整理番号」	/		
※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する			
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和5年8月8日			
領収証		No. _____	
川瀬 孝代 様		令和5年8月8日	
金 額	¥12,500		
但 8月8日セミナー受講料として 上記正に領収いたしました		内 消費税等	
		現 金	
収入印紙	〒112-0011		
	東京都文京区千石2-34-6	係	
	株式会社 廣瀬行政研究所		
※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。 また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。			
使 途	研究 受講料		
按 分 率 等 (按分の支出の場合)			
そ の 他			

参考様式 1 領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和5年度)

使 途 項 目	研修費		
参考様式2の「整理番号」	/		
※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する			
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和 5 年 8 月 9 日			
領収証		No _____	
川瀬 孝代 様		令和 5 年 8 月 9 日	
金 額	¥12,500		
但 8月9日セミナー受講料として 上記正に領収いたしました		内 消費税等 現金	
収入印紙	〒112-0011 東京都文京区千石2-34-6 株式会社 廣瀬行政研究所	係	
※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。 また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。			
使 途	研修費 受講料		
按分率等 (按分の支出の場合)			
そ の 他			

参考様式 1 領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和5年度)

使 途 項 目	研修費
参考様式2の「整理番号」	/
※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する	
領 収 書 領収書-No 8 窓口-No 4 川瀬 孝代 様 金額 ￥5,910円 「消費税等込み」 但し、乗車券類代金として 上記金額確かに領収致しました 2023年 8月 8日 株式会社ジェイアール東海ツアーズ ご利用いただきましてありがとうございます 印紙税申告納 付につき京橋 税務署承認済 名古屋支店 担当者	
領 収 書 Receipt 領収年月日 2023.-8.-9 全 額 ￥5,900 (消費税等込み) 上記金額確かに領収いたしました 購入商品 JR乗車券類 JR tickets (00462 1枚) 西日本旅客鉄道株式会社 京都駅 京都駅F21発行 20464-01 印紙税申告納 付につき大淀 税務署承認済	
※ 領収書等は、里ねすに貼ってください。 また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。	
使 途	旅費
按分率等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	

参考様式 1 領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和5年度)

使 途 項 目	研修費
参考様式2の「整理番号」	/
※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する	
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和5年8月8日	

領 収 証

№ 003451

入金先

川瀬 孝代

様

★

¥10,100 -

入金日

2023年7月21日

上記正に領収いたしました

但

8/8 宿泊代金

収入印紙

内 訳

現金

小切手

旅行券

菰野東部交通株式会社

〒510-1323 三重県三重郡菰野町小島31

TEL 059-396-5151 FAX 059-396-5152

担当者印

※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。

また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。

使 途	宿泊費
按分率等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	

使 途 項 目	研修費
参考様式2の「整理番号」	/
※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する	
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和5年8月9日	
領 収 証 毎度ご乗車ありがとうございます。 NO.019 車両番号 京都-330-あ-298号 2023-08-09 13:15 乗車料金 ¥1,450- 消費税含む 上記の通り正に領収いたしました。  MKタクシーGroup エムケイ株式会社 〒601-8432 京都市南区西九条東島町63-1 コールセンター 075-778-4141 (24時間) 0774-53-5489 お忘れ物は 075-555-3132(代) 支払内訳 現金 ¥1,450	
※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。 また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。	
使 途	旅費 (362.5円×4人)
按分率等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	

参考様式 4

使途項目	研修費	整理番号	/
------	-----	------	---

活動旅費明細書(令和5年度)

議員名 川瀬 孝代

研修事項: 1. 社会環境経済の好循環を生み出す統合思考の地域づくり
2. 市長経験が明かす質問の極意

目的地: 京都経済センター

期 間: 令和5年8月8日から令和5年8月9日(2日間)

(1) 交通費 15,760 円

(交通費内訳)

日程	区 間	交通手段	交 通 費
2日間	新大垣新田 ~ 名鉄バスセンター(名古屋) 往・復	三重交通 高速バス	2,500 円
	名古屋 ~ 京都 往・復	新幹線	11,810 円
	京都経済センター ~ 京都駅 往・復	タクシー(4人分)	1,450 円
	~ 往・復		円
	~ 往・復		円
合 計			15,760 円

(2) 宿泊費 10,100 円

(宿泊内訳) 実費 10,100 円 × 1 泊

(実費の上限は、14,800円)

合 計 25,860 円

注意

交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

令和 6 年 2 月 20 日

東員町議会

議長 山本陽一郎 様

東員町議会 議員 川瀬孝代



研修報告書〔政務活動費充当研修〕

研修期間	<u>令和 5 年 8 月 8 日 (火)</u> ～ <u>8 月 9 日 (水)</u> 【 2 日間】
研修 (視察) 先	京都 経済センター
目的 (テーマ等)	1. 地域にあるものを活かし、社会・環境・経済の好循環を生み出す 統合思考の地域づくり 2. 市長経験者が明かす! 奥の極意
参加議員名 (複数の場合記入)	三宅 耕三、三林 浩、片松 雅弘
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要、内容、所感

前江子市長 平井竜一氏 (合資会社 まぐろリユースネットセンター代表)

一般質問で行政を動かす!

レシメに沿って説明

質問の極意

一般質問で一般質問に対して問うべきこと。

悪い質問

綱べいばかりのこと、行政批判だけする、一方的見解

行政の取り組みの進捗、解決策の提案なし。

財源根拠なく要望する、何も批判しない。

良い質問

現状の問題点と原因を的確に分析、将来ビジョンと合致した政策を示す。

具体的解決策の提案がある。

課題を共有し、解決に向けた取り組みに導いている。

財源と、政策の優先順位の明確さ。

継続して取り上げ発展させる。

質問の極意 (資料添付) 6つの着眼点

前市長の経験からなる研修内容でした。

現場の声であるため、考えさせられる点がいくつもありました。

実際の事例を示したばかりの講義は時間の過ぎるのを忘れてしまうほど
有意義なことでした。

何のためにするのか、原点を忘れず、これからの一般質問に生かしていきたいと思います。

地方議会議員セミナー日程

2023年8月8日(火)

名古屋高速バス・城山 8:31・新大仲新田 8:35 名古屋 9:21 着

新幹線名古屋発 10:32 → 京都駅着 11:06 (京都駅地下街で昼食)

京都経済センター

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地

- ・京都市営地下鉄烏丸線(国際会館行き)「四条駅」下車～北改札出てすぐ
- ・阪急電車京都線～「烏丸駅」26番出口直結
- ・京都市営バス「四条烏丸」徒歩すぐ

宿泊：京都タワーホテルアネックス (15:00 チェックイン朝食付き)

2023年8月9日(水)

京都市営烏丸線(地下鉄) → 国際会館行(約3分) またはタクシー

地方議会議員セミナー(初日) ◆会場：京都経済センター

2023年08月08日(火) 14:00～17:00

地域にあるものを活かし、社会・環境・経済の好循環を生み出す
統合思考の地域づくり in 京都

1. 地域の「いいもの」を地域の力として活かすには？
2. 経済・社会・環境をバラバラに考えない！～統合思考とは？
3. 地域の強みを「6つの資本」から捉えなおす
～財務資本、製造資本、知的資本、人的資本、社会・関係資本、自然資本
4. 施策、活動を次につなげるものとするためにアウトカムを考える
5. 持続可能な地域へのストーリーをデザインし、共有するには？
6. 未来志向のローカルガバナンスへ

地方議会議員セミナー(2日目) ◆会場：京都経済センター

2023年08月09日(水) 10:00～13:00

市長経験者が明かす！質問の極意 in 京都

1. 一般質問で何を問うべきか？
2. 一般質問の極意
3. 受講者の一般質問をアドバイス
4. 委員会質疑のツボ

議員・職員のための

一般質問で 行政を動かす！



講師

平井 竜一

(資) まちづくりコーディネーター代表
前返子市長

早稲田大学社会科学部卒業。大学時代に返子市の池子米軍住宅建設問題に関わったのをきっかけに市長を志す。民間企業を経て、31歳で返子市議会議員、10歳で返子市長となり3期12年勤める。市長時代に米軍住宅地内10ヘクタールを返子の森自然公園に整備すると市の発展に尽くす。市長退任後は民間でコンサルティングに専事するが、2021年2月に西東京市長選挙に地元市民と議員から要請されて立候補。まちづくりコーディネーターセンター代表として公民館、コンソーシアム運営。

日程①

7/25(火) 東京

日程②

8/9(水) 京

◆ 10:00 ~ 13:00

市長経験者が明かす！質問の極意

1. 一般質問で何を問うべきか？
2. 一般質問の極意
3. 受講者の一般質問をアドバイス
4. 委員会質疑のツボ

◆ 14:00 ~ 17:00

理想の一般質問をつくるグループワーク

1. 一般質問を自己分析
2. もっと質問が上手になるには
3. 次の一般質問を組み立てよう
4. 市長経験者から実践アドバイス

(株) 廣瀬行政研究所

議員・職員のための

地域の人・あるものを活かす

持続可能なまちづくり

～人的資本、統合思考の地域づくりでの活用法～

日程① 7/26 (水) 東京

日程② 8/8 (火) 京都

同時開催！
オンラインセミナー

◆10:00～13:00

地域の人的資本戦略

～地域の人をを活かして持続可能な地域をつくるには？

1. 政府と財界が進める「人材から人的資本への考え方のシフト」
2. 地域にも重要な「人的資本」の考え方
3. 激しい変化の時代に、地域を支える「人」とは？
4. 目指したい将来の姿から人を捉えなおす
5. ダイバーシティ&インクルージョンを地域の力とするには？
6. 地域にある人の力を活かすための対話と学びの場づくり

◆14:00～17:00

地域にあるものを活かし、社会・環境・経済の好循環を生み出す
統合思考の地域づくり

1. 地域の「いいもの」を地域の力として活かすには？
2. 経済・社会・環境をバラバラに考えない！～統合思考とは？
3. 地域の強みを「6つの資本」から捉えなおす
～財務資本、製造資本、知力資本、人的資本、社会・文化資本、自然資本
4. 施策、活動を次の3つの視点から捉えるためにアウトカムを定める
5. 持続可能な地域へのストーリーをデザインし、共有すること
6. 未来志向のローカルガバナンス



講師： 広石 拓司 [株式会社エンパブリック代表取締役
ソーシャル・プロジェクト・コーディネーター]

東京大学大学院薬学系修士課程修了。シンクタンク勤務を経て、2013年に株式会社エンパブリックを創業。地域・企業・行政など多様な主体の協働による社会課題解決型事業の構築に多数携わる。慶應義塾大学総合政策学部、早稲田大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科などの非常勤講師も務める。また、地域の社会活動のアドバイザー役も務めるなどスポーツと地域の協働推進にも取り組む。

(株) 廣瀬行政研究所

地域の6つの資本

資本＝地域住民の生活・事業者の活動への便益を生み出す原資のストック

empubli

□ 財務資本

地域の経済力、財政状況、事業者の売上高、住民の購買力、地域への投資

□ 製造資本

いまだに使われていないもの
建造物、工場、公共施設、住宅、道路・上下水道・通信などの社会インフラ、空き家、空き地
活用は、どうするのや

□ 知的資本

地域の知恵、伝承、技術・技能教育、学びの場、ICT活用、住民活動のノウハウ

□ 人的資本

人材、多様性、地域への誇りと責任感、地域づくりへの参加と役割を果たす意欲

教育・多様性 既に持っているけれど
高齢化が進む（新しい人材の不足）

□ 社会・関係資本

コミュニティ、共助、相互信頼、対話、関係人口、公正さへの信頼

□ 自然資本

自然、天然資源、地形、景観、グリーンインフラ、生物多様性、農地・漁場の豊かさ

自然環境の劣化 どのように回復させるか

参考様式 4

使途項目	研修費	整理番号	3
------	-----	------	---

活動旅費明細書(令和5年度)

議員名 川瀬孝代

研修事項: 7Xニティーフォーラム 27

目的地: 滋賀県大津プリンスホテル

期間: 令和6年2月9日から令和6年2月11日(3日間)

(1) 交通費 680 円

(交通費内訳)

日程	区 間	交通手段	交 通 費
3日間	桑名 ~ 亀山 (往・復)	JR 関西線	680 円
	亀山 ~ 大津プリンスホテル (往・復)	自転車 同乗	0 円
	亀山 ~ 自宅 頼町 (往・復)	〃	0 円
	~ 往・復		円
	~ 往・復		円
合 計			680 円

(2) 宿泊費 20,980 円

(宿泊内訳) 実費 10490 円 × 2 泊

(実費の上限は、14,800円)

合 計 21,660 円

注意

交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

参考様式 1 領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和5年度)

使 途 項 目	研修費
参考様式2の「整理番号」	3 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和6年2月9日	

領 収 証 RECEIPT		CQ No. 001396
川三頼 孝代 様		2024年2月9日
下記の金額正に領収いたしました。 〔現金・クレジットカード・振込・その他 ()〕		
金額(税込)	¥ 20,980	☐ 上記は食料品代 (軽減税率対象) 含む ☐ 上記領収額には別紙明細料金を含む
収 入 印 紙	【内 訳】	
	標準税率 税込金額	¥ 20,980
	10%対象 消費税額	¥ 1,909
	軽減税率 税込金額	¥
	8%対象 消費税額	¥
	課税対象外 ()	¥
その他領収額※ (内、免税事業者 領収額) ¥		株式会社 西武 アルティマシーションズ びわ湖大津プリンスホテル 〒520-8520 滋賀県大津市におの浜4-7-7 TEL: 077-521-1111 FAX: 077-521-1110 登録番号: T5013301022046 係名 斎藤
※「その他領収額」の税率別の消費税額等は、別紙明細をご参照ください		

※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。

また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。

使 途	宿泊費
按分率等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	

参考様式 1 領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和5年度)

使 途 項 目	研修費
参考様式2の「整理番号」	3 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和 5 年 12 月 6 日	

領 収 書

東員町議会 川瀬孝代 様

No. 65109-0042
初回発行日 2023/12/06

合計金額 17,500 円

但し、アメニティーフォーラム27参加費
上記の金額 正に領収いたしました

税率別内訳

税率	消費税	税込金額
10%	1,590	17,500

アメニティーフォーラム実行委員会
355-0008
埼玉県東松山市大谷590
(社福) 昂(すばる)内



※ 領収書等は、裏面に貼つくとよい。

また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。

使 途	参加費
按分率等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	

令和 6 年 2 月 20 日

東員町議会

議長 山本陽一郎 様

東員町議会 議員 川瀬孝代 ㊟

研修報告書〔政務活動費充当研修〕

研修期間	令和 6 年 2 月 9 日 (金) ～ 2 月 11 日 (日) 【 3 日間】
研修 (視察) 先	3X = ティーフォーラム 27 滋賀県 大津プリンスホテル
目的 (テーマ等)	報酬改定 (障害介護) から考える、地域で暮らすための財源確保、 年金改革、介護保険について、強度行動障害児者への関わり、支援について、 障害者の地域生活の推進、高次脳機能障害支援法制定への動き、 障害者基本法の改定、人口減少、高齢化、社会福祉の分野、地域から考える。
参加議員名 (複数の場合記入)	亀山市議会議員 森美和子 鈴鹿市議会議員 船間涼子、 伊賀市議会議員 赤堀久美 鳥羽市議会議員 坂倉広子、 津市議会議員 安積むつみ
資料添付の有無	㊟ ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要、内容、所感

7Xニティーフォーラム27.

内容は添付資料にあります。

多くの福祉関係の方が集い、議論する場となっています。

・障害者の権利について、障害者が地域で自立した生活を送るための予算の再配分を求める。
移行支援や地域生活支援拠点を充実させる財源確保にむけての内容。

・お金について。

現在進めている年金制度改革の議論においての年金の見とおし、障害当事者の暮らしはどうなるのかの内容。

・子ども・若者社会。

子ども家庭庁 幸せに暮らせる社会づくり、障害児の暮らしや福祉サービスなどについての内容。

・障害者基本法の見直し、高次脳機能障害の認知や啓発について必要な法制化に向けての議論
国際的に認められている評価されている取り組みについての内容。

・介護報酬改定。(障害・介護)。

・ポイント・ベース・システムの実現。

・サービスの質の確保、事業者として守ってほしい、サービスも変化している。

・障害者施設で働く人材確保、処遇改善。

・発達障害者、雇用を考えている。

・利用者の目線から地域生活を考えることが重要。

・小さな施設も多く、手が届いていない。

・自分の事業所でいかにできない、地域連携、会議など実施すること現状

2040年に向けての社会保障の方向性の中で、人生100年時代の健康寿命延伸や、保障分野のデジタル化、75歳の次は85歳対策、次世代が生まれて育つ社会の実現など様々な取り組みが考えられている。(厚生労働省レジヨリ)。

所感

3日間の研修内容は多くありますが、障害者福祉において内容が深くなっていると感じました。さまざまな角度から現在の状況、これからの取り組みを通して、日本の抱えている課題の深さを考えました。

高齢化のワークはみえていますが、人口減少はさらに深刻なことです。

時代の変化とともに、おれが住みながら地域で自分らしく過ごせる、まちづくりをしていくために取り組まなければならないことがありますので、学びながら少しでも役立とう活動していきたいと思っています。

研修概要、内容、所感

1. 社会環境経済の好循環を生み出す。統合思考の地域づくり。

レジメに浴びて説明。 広石拓司氏（株式会社エンパブリック代表）

・地域づくりへどう取り組むか。

・住民が主体となって暮らしを豊かにするためのサービスや物を生み出したリはいいが
にしていく活動が大事である。（リビングラボ）

・街づくりの視座から見ると、リビングラボの活動を通し、地域活動に参加していない方
が参加の機会として、交流が生まれてくる。

地域をつなげていく、地域をつなぐ人がいるかどうか？が課題

〈企業（起業家）との共同〉

新しい商品や仕事づくり、外からお金を稼ぐ、稼いだお金を町に還元し、再
投資していく。

〈ポジティブ・アプローチ〉

どんな未来を描いていくのか、実現するための価値創造、人を集める、知恵を集める
ことでお金も集まる。

・経済は、社会、環境を基盤としている。

・2030年めざして町はどうなのか。見直す機会に気づくことが大事。

・SDGsのレンズで地域を見直していく、意味を深めていく。

・6つの資本（資料添付）内容。

・あるものを見直していく。資本という考え方。何が必要か。

研修内容が多岐にわたる。現在社会がわかっている内容も多く学ぶことができた。

2. 一般質問の極意

【6つの着眼点】

1. 問題を多角的に捉えて質問を組み立てる^{形を整える}
2. 最重点質問を決めて答弁のゴールを設定
3. 「検討する」で終わらせず、検討プロセスと期限を明確にする^{詳しく追記していくこと}
4. 政策間の優先順位と財源の裏付けを質す^{考え方を示す}
5. 先進事例は当市に合わせた内容で提案
6. 予算が付いて満足せず、実施過程と事後評価にもこだわる^{1960年代の経験から}
良しむすめいにもっと早く文をみてもいいと、伝える。

差出人: アメニティーフォーラム 実行委員会事務局

送信日時: 2024 年 2 月 7 日 12:00

宛先: 川瀬 孝代

件名: [アメニティーフォーラム 27] 参加 QR コードを送ります。

川瀬 孝代様

アメニティーフォーラムへのお申込みありがとうございます。

大変お待たせいたしました。

当日入退場にご使用いただく QR コードを配信いたします。

今回は感染対策のため、会場である大津プリンスホテルへの入退場の際に本 QR コードを専用の機械にかざしていただく予定です。

つきましては、お手数ですが、こちらをスマートフォン等で表示できる状態または紙に印刷して当日ご持参ください。

受付用 QR コード



上の QR コードが表示されない場合は、下のリンクから QR コードを表示してください。

<https://e-ve.event-form.jp/rd/65109/b8512325aafb4af3826b9d0354b1841a6565720648297/qrcode>

また、皆様にも舞台を創る一員としてご参加いただきたいと存じます。鑑賞しながら考え

語り合うというコンセプトの為、机は設置せず紙媒体での資料配布もいたしません。

資料については、本日お送りするメールの URL からフォルダ内データを参照していただく形式となります。随時最新版をアップデートする予定でございますので予めご了承ください。

なお、会場で資料を参照されたい方はタブレット端末や持ち運びのできる PC 等を各自ご用意ください。

実行委員会一同、びわ湖大津プリンスホテルでお待ちしております。

アメニティーフォーラム実行委員会事務局

最新版

アメニティー フォーラム 27

A small, stylized illustration of a person with short dark hair, wearing a dark jacket, waving their right hand. They are positioned behind the large number '27' in the title.

2024年2月

9日(金) - 11日(日)

2月
9日
[金]

総合司会 吉野智 (元厚生労働省障害福祉専門官)

DAY
1

Amenity Forum 27

11:30 [オープニングトーク]

第27回アメニティーフォーラムが始まります。

関係者によるご挨拶です。

11:40

[ウェルカムトーク]

私宅監置の歴史に耳を澄ませる

～大西暢夫の映像と共に考える、本当に強い社会、命の尊さとは～

大西暢夫 (映画監督) 岡村忠弘 (高知県高次脳機能障害支援拠点センター青い空 センター長)

下里晴朗 (ほっと未来SOUZOU舎理事長)

尾上浩二 (DPI日本会議副議長)

岩上洋一 (地域で暮らそうネットワーク代表理事)

進行 御代田太一 (東京演劇集団風研究所理事)

12:00

12:10 東京演劇集団風と八ヶ岳名水会による詩劇「もののメロディーの覚え書き」

吉田沙緒里 (星の里在住・ピアニスト)

渋谷愛 (東京演劇集団風 役者)

緒方一則 (東京演劇集団風 役者)

12:40

12:40 表彰式とシンポジウム

「食べることは生きること」

～日々、食事を提供する調理員さんが輝いた物語～

服部幸應 (学校法人服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長)

久保厚子 (しが夢翔会理事長)

下浦佳之 (日本栄養士会専務理事)

進行 岡山慶子 (朝日エル会長、グロー評議員)

13:55

14:05 講演「全国を"きぼうのまち"に！」

奥田知志 (認定NPO法人抱璞理事長)

15:25

15:35 司法×福祉は次のステージへ

～地域生活定着支援センター15年の歩みと、法務省とのモデル事業～

【新たな取り組み・法務省モデル事業の報告】 田島光浩 (南高愛隣会理事長・医師)

【全国地域生活定着支援センター協議会15年の取り組み】 高原伸幸 (全国地域生活定着支援センター協議会代表理事)

16:50

17:00 移動から考える未来

～移動支援の拡充、地方のインフラ、公共交通のアクセシビリティ、全部実現するために、みんなで作戦を考えます～

中根裕 (全国移動サービスネットワーク理事長)

今村登 (DPI日本会議事務局次長)

古川康 (衆議院議員・元国土交通大臣政務官)

進行 蒲原基道 (元厚生労働省事務次官)

18:15

18:30 ～心の大きな深呼吸を～ 久々の大交流会

20:00

20:15 劇団夢屋 「妖怪バリアをやっつけろ」

出演者 平下泰幸 林毅 堀旭 登裕樹 溝口広知 田代みのり 脚本・演出 小角元哉

20:45

21:00 鼓響アメニティー祭「瑞宝太鼓公演!!!」

「希望し、努力し、感謝して生きる」

障がい者長崎打楽団 (瑞宝太鼓:南高愛隣会)

岩本友広 高倉 照一 辻 浩一郎 川崎 拓也 中村 慶彦 川原 慧介

森田 祐司 増田 樹 坂田 一星 前田 峻希 松崎 樺蓮 岩永 洋平

22:00

22:00 底抜けに明るく、切ない物語り

～瑞宝太鼓メンバー勢揃い!～

「メンバーの暮らし、表現と生き方について、お聞きしたいと思います。」

ゲスト 古川康 (衆議院議員・元国土交通大臣政務官)

江口満 (厚生労働省障害保健福祉部企画課長)

進行 鈴木加代子 (越谷市教育センター 専任教育相談員)

白根有子 (東京演劇集団風・役者)

23:00

23:00 昨年に引き続き、御代田さんの同窓会を

福田開史 (内閣官房) 槍澤芽衣 (文部科学省) 御代田太一 (東京演劇集団風研究所理事)

進行 大沼美紀 (全国地域生活支援ネットワーク理事)

小島幸子 (全国手をつなぐ育成会連合会副会長)

24:00

24:00 役者と一緒に舞台づくり

～明日の「ヘレンケラー」の講演に向けて、舞台を創ります～

参加しても良い方は、一緒に、いかがでしょう?

進行管理者 栗山友彦 (東京演劇集団風・役者)

片岡保憲 (全国地域生活支援ネットワーク理事)

山之内洋 (グロー 地域共生部部長)

26:00



2月
10日
[土]

総合司会 大平眞太郎(元厚生労働省障害福祉専門官)

DAY
2

Amenity Forum 27

A会場 司会: 白井京子(全国地域生活支援ネットワーク理事)

08:30 トイレがないと、困ります。～普段は語りにくい私たちのトイレ事情、赤裸々にお伝えします～
平下耕三(全国自立生活センター協議会代表) 柳瀬太一(東京演劇集団風代表) 進行: 高橋陽子(日本フィランソロピー協会理事長)

09:15

09:20 地域移行×虐待防止×差別解消法×デジタルについて～重要なテーマの最新の状況・課題を整理します～

田村綾子(日本精神保健福祉士協会会長・聖学院大学副学長) 白井誠一朗(DPI日本会議事務局次長) 山口麻衣子(全国地域で暮らそうネットワーク)
宮路拓馬(衆議院議員 元内閣府政務官・自民党国会対策委員会副委員長) 進行: 齋藤誠一(グロー理事・ひのたに園施設長)

11:00

11:10 言葉になるまえの、心のそばで。～安心してケアを果立てる社会のために～

鼎談 村木太郎(南高愛隣会理事) 高橋亜美(アフターケア相談所ゆずりは所長) 村木厚子(全国社会福祉協議会会長)

12:10

B会場 司会: 大平眞太郎(元厚生労働省障害福祉専門官)

08:30 今年の報酬改定から考える～地域での暮らしが進むでしょうか

論点(1) そもそもこの報酬単価、他業種との人材確保競争で負けてしまいます
論点(2) 地域で暮らすための財源確保について、アイディアはないのか

辺見聡(厚生労働省障害保健福祉部長) 岡部正文(ソラティオ理事長) 今村登(STEPエドがわ理事長) 福岡たかまろ(自民党 参議院政策審議会会長)
進行: 岩上洋一(地域で暮らそうネットワーク代表)

10:15

10:20 当事者と支援者の「お金」について学ぼう!

～意外と知らない年金の仕組みと、現在行われている年金改革の議論について～
社会福祉法人の福利厚生事業で、iDeCoやNISAを始めているところの報告も

菊池馨実(早稲田大学法学学術院教授) 高木美智代(公明党顧問) 橋本泰宏(厚生労働省年金局長) 岡部浩之(清心会理事長)
進行: 丹羽彩文(全国地域生活支援ネットワーク事務局長) 指定討論者: 又村あおい(全国日本手をつなぐ育成会常務理事)

12:10

ここから全体会議 司会: 大平眞太郎(元厚生労働省障害福祉専門官)

13:00 子どもを"ど真ん中"においた国づくりを!～子どもたちにとって幸せな社会を創るために必要なこと～

衛藤晟一(自民党・障害児者問題調査会会長) 嘉田由紀子(国民民主党) 渡辺由美子(こども家庭庁長官)
コーディネーター 野澤和弘(植草学園大学副学長) 指定討論 水流源彦(全国地域生活支援ネットワーク 理事長)

14:20

14:30 新しい孤独、新しい貧困。福祉の役目は終わらない。 村木厚子(全国社会福祉協議会会長)

15:30

15:30 「障害福祉を職業に選んだすべての人たちへのメッセージ～これからの時代に想いを馳せる～」

土生栄二(元厚生労働省老健局長・障害福祉課長) 聞き手: 土生さんが課長だった時の障害福祉専門官 高原伸幸 曾根直樹

16:20

16:30 「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」を世界に紹介しよう!

～2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)を発信の場に～
平井伸治(前全国知事会会長・鳥取県知事) 三日月大造(滋賀県知事)
指定討論者: 尾上浩二(DPI日本会議 副議長) 進行: 大下義之(同志社大学経済学部教授)

17:40

17:45 政治家に聞く!「障害者の地域生活をさらに推進するために必要なこと」

～障害者基本法の改正と、そろそろ高次脳機能障害者支援法の成立を～

衛藤晟一(自民党障害児者問題調査会会長) 山本博司(公明党障がい福祉委員会事務局次長) 田畑裕明(衆議院議員 自民党厚生労働委員長)
滝波宏文(参議院議員 障害児者のコミュニケーション推進に関する議員連盟幹事長補佐) 宮路拓馬(衆議院議員 元内閣府政務官・自民党国会対策委員会副委員長)
聞き手: 野澤和弘(毎日新聞客員論説委員) 指定討論: 田中伸明(日本視覚障害者団体連合評議員・弁護士) 久保厚子(全国手をつなぐ育成会連合会顧問)

19:00

19:00 パリからの特別ゲスト! 世界の流れを減速させる取り組みを

～フランスと日本の文化的交流の展望について～

オリビエ・コント(OLIVIER COMTE) LES SOUFFLEURS COMMANDOS POETIQUES ささやきの詩想レジスタンス(芸術監督)

19:30

20:30 東京演劇集団風の公演によるバリアフリー演劇「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち～」上演

作: 松兼功 演出: 浅野佳成 音楽: 小室等 出演: ヘレン・ケラー(白根有子) アニー・サリバン(渋谷愛)
アーサー・ケラー(酒井宗親) ケート・ケラー(柴崎美納) ジェイムス・ケラー(中村滋)
アナグノス校長(緒方一則) 医師(坂牧明) ビニー(清水菜穂子) パーシー(稲葉礼恵)
舞台手話通訳: 小島祐美 音声ガイドナレーター: 辻由美子 途中10分の休憩があります。

22:30

22:30 これは、自分と出会い直すことを待ち望む、すべての人への物語。

～芝居を観た後で、生きる夢について語ってみます! (飲みたい人は飲みながら)～

村木太郎(社会福祉法人南高愛隣会理事) 門岡裕一(日本芸術文化振興会) 杉野可愛(千葉県庁教育委員会教育次長)

蒲原基道(元厚生労働省事務次官) 源河真規子(厚生労働省) 奥田知志(認定NPO法人抱擁理事長)

大河内直之(内閣府障害者施策アドバイザー) 江原早哉香(東京演劇集団風演出) 堀江和博(日野町町長) その他、研究委員が登壇します。

進行: いわがみよういち(東京演劇集団風研究所理事)



2月
11日
[日]

DAY
3

Amenity Forum 27

総合司会 竹嶋信洋(ベストサポート代表取締役)

08:30 **強度行動障害児者に良質な関わりを!**
～残念なことに、支援の質の格差が広がる実態について～
松上利男(北摂杉の子会理事長) 伊藤洋平(厚生労働省障害福祉課長) 林晃弘(フラット理事長)
進行:長田和也(全国地域生活支援ネットワーク理事)

09:45
09:55 **超高齢化・人口減少の最中に求められる、
社会福祉のデザインとは?**
～当事者、担い手、地域から考える～
伊原和人(厚生労働省保険局長)

11:20
11:25 **若者セッション「本籍は、福祉!もっと自分らしくなるために!」**
～違う分野にチャレンジする人の心～
中曽根鈴音(私は変わらず福祉を続けます)
水流かなこ(医療的ケア児者の看護師を辞めて役者に挑戦をします)
御代田太一(グローはとも好きな職場ですが、違った世界も経験したくて)
進行:安藤よし子(グロー理事・元厚生労働省人材開発統括官)
意見を述べる人:大原裕介(ゆうゆう理事長)

12:30
12:30 **グランドフィナーレ**
これからの社会創りのために、新しい団体が立ち上がります。
地域生活支援拠点等を中心とした共生社会を目指す全国協議会!

久保厚子(前全国手をつなぐ育成会連合会会長)	齋藤誠一(グロー理事)
村山勇治(前全国手をつなぐ育成会連合会監事)	長田和也(ハヶ岳名水会理事長)
岩上洋一(全国地域で暮らしそうネットワーク代表理事)	牛谷正人(グロー理事長)
曾根直樹(元厚生労働省障害福祉専門官)	大平真太郎(元厚生労働省障害福祉専門官)
高原伸幸(元厚生労働省障害福祉専門官)	奥田知志(抱樸理事長)
蒲原基道(元厚生労働省事務次官)	鈴木加代子(越谷市教育センター専任教相談員)
田島光浩(南高愛隣会理事長)	大西暢夫(写真家)
尾上浩二(DPI日本会副議長)	江原早哉香(東京演劇集団風研究所理事)
平下耕三(全国自立生活センター協議会代表)	山上庄子(バブラ社社長)
佐藤聡(DPI日本会議事録局長)	大原裕介(ゆうゆう理事長)
今村登(STEP江戸川理事長)	松上利男(北摂杉の子会理事長)
野澤和弘(植草学園大学副学長)	井井誠一郎(DPI日本会議)
小島幸子(全国手をつなぐ育成会連合会副会長)	宮部真弥子(谷野山病院)
山口和彦(東松山市副市長)	中曽根鈴音(JIL聴覚障害者プロジェクトチーム)
水流源彦(全国地域生活支援ネットワーク理事長)	佐々木桃子(全国手をつなぐ育成会連合会会長)
山口麻衣子(全国地域で暮らしそうネットワーク)	又村あおい(全国手をつなぐ育成会連合会常務理事)
林晃弘(フラット理事長)	福島龍三郎(はる理事長)
竹嶋信洋(ベストサポート代表取締役)	衛藤屋一(参議院議員・障害者芸術文化議員連盟会長)
丹羽彩文(全国地域生活支援ネットワーク事務局長)	古川康(衆議院議員)
伊藤未知代(元厚生労働省障害福祉専門官)	福岡資徳(参議院議員)
吉野智(元厚生労働省障害福祉専門官)	滝波宏文(参議院議員 元財務官僚)
御代田太一(東京演劇集団風研究所理事)	田畑裕明(衆議院議員)
岡部浩之(清心会理事長)	宮路拓馬(衆議院議員)
大河内直之(内閣府障害者施策アドバイザー)	山本博司(参議院議員)
門川紳一郎(全国盲ろう者協会)	三浦信祐(参議院議員)
片岡保憲(青い空理事長)	高木美智代(公明党顧問)
下里晴朗(ほっと未来SOUZOU会理事長)	清水明彦(西宮市社会福祉協議会副理事長)
村上和子(シンフォニー理事長)	名里晴美(訪問の家理事長)

13:00
ここまでの、アメニティーフォーラムは終わりです。
ここからは、昨年、御代田さんが訪ねたボストンで出会った
障害がある子どもを育てるお母さんたちをお招きして、色々とお尋ねしたいと思います。

13:20 **公開討論会**
「日本とアメリカの違うところを、ポジティブに学び合います」
本山真弓(ボストンスペシャルニーズ創立メンバー 現在、「ケアギバー」として州から報酬をもらいながら
息子の暮らしを支えています)
落合典子(NPOプラネットボストン代表 以前、教育裁判を起こして公立校から自閉症専門校への娘の転校を
勝ち取りました)
尾上浩二(DPI日本会副議長・我が国の障害者運動のオピニオンリーダー)
小野明子(日本で自閉症支援を経験したのち、東海岸イチの自閉症専門校「ボストン東スクール」で体育教師
を務めています)
モデレーター:御代田太一(東京演劇集団風研究所理事)
櫻井真美(静内ベテカリエリアマネジャー)

15:50

アメニティーフォーラムは、東京演劇集団風の舞台美術(テーブルや椅子など)を使用させて頂きながら進行します。今回のコーディネートは丹羽彩文(全国地域生活支援ネットワーク事務局長)と山口麻衣子(地域生活支援センターすみよし)、櫻井真美(静内ベテカリエリアマネジャー)、倉八ほなみ(東京演劇集団風)が行います。

バリアフリー映画祭

主催:バリアフリー映画研究会
会場:ホテル棟2F「比叡」

上映スケジュール

2月9日
[金]

12:30 **開場**
13:00 **おらが村のツチノコ騒動記**
(71分予定)
今井友樹監督による舞台挨拶があります。
14:30 **終了**
15:00 **さよなら ほやマン**
(106分)
庄司輝秋監督による舞台挨拶があります。
17:00 **終了**
17:20 **ケイコ目を澄ませて**
(99分)
19:00 **終了**

2月10日
[土]

09:00 **開場**
09:20 **さよなら ほやマン**
(106分)
庄司輝秋監督、呉城久美さんの舞台挨拶があります。
11:30 **終了**
12:50 **おらが村のツチノコ騒動記**
(71分予定)
今井友樹監督による舞台挨拶があります。
14:30 **終了**
15:00 **LOVE LIFE**
(123分)
17:03 **終了**
18:00 **小室さんコンサート**
「音楽と生きる」
19:30 **終了**

特別上映

20:00 **ともに生きる**
(91分)
寺田靖範監督による舞台挨拶があります。
21:50 **終了**

2月11日
[日]

08:30 **開場**
09:00 **ケイコ目を澄ませて**
(99分)
10:40 **終了**
11:00 **LOVE LIFE**
(123分)
13:05 **終了**

Barrier-free film festival